

金沢学院が女子団体V3



女子団体で3連覇を果たし喜び金沢学院大学のメンバー＝横浜市磯子スポーツセンター（北國新聞社提供）

全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権

個人も5階級で連覇

金沢学院大学ウエイトリフティング部は12月25日から3日間、横浜市の磯子スポーツセンターで開かれた全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権に出場し、女子団体で3連覇を達成しました。女子は個人でもメンバー5人全員が各階級で満点を挙げて1位になり、出場した全階級で連覇を果たしました。男子は団体8位で、昨年の6位を下回りましたが、個人では河原祐輔選手（3年）が94kg級で2年連続優勝しました。スナッチで146kgの大会

新記録しました。女子の優勝メンバーは次の皆さん。
▽48kg級 中部有理（4年）▽53kg級 竹下菜緒（4年）▽58kg級 具志堅美沙希（2年）▽75kg級 仲村理奈（1年）▽75kg級超級 嶋本麻美（4年）
スナッチ110kgは日本新



熱のこもった演技を見せる演劇部員＝金沢市立泉野図書館

演劇集団が公演 吹奏楽部が定演

金沢学院大学演劇集団ROUGH（ラフ）の第11回公演が12月26日に金沢市立泉野図書館で、また、金沢学院大学・短期大学吹奏楽部の第15回定期演奏会は12月27日、石川県文教会館で開かれました。
演劇は「家族日和」と妹とで、交通事故で両親を失った兄妹の葛藤と心の絆を迫力あるセリフ回しで演じました。
演奏会では、五十嵐清氏の指揮で、行進曲、メドレー曲や大河ドラマ「天地人」のテーマなどが披露され、聴衆を魅了しました。



年頭の訓示を行う飛田理事長＝4号館講堂

教職員一丸で改革継続

金沢学院飛田理事長が年頭訓示

学校法人金沢学院の平成22年仕事始め式は1月5日、4号館講堂で行われ、飛田秀一理事長が教職員約240人を前に、年頭の訓示をしました。飛田理事長は「私学経営は厳しい状況を迎えている。学生、生徒の確保のために、引き続き学園改革に取り組み、大学と短大の連携、高大一貫教育の推進、教職員の協力関係の拡充・強化を図ることが必要である」と強調しました。

基本方針では、学部の改組、大学院への社会人受け入れ、就職支援策、東高校の生徒募集の強化に取り組むことなどを挙げました。また、新しい施策として、保護者懇談会の拡充、学生支援の強化などを掲げ、教職員一丸となって取り組みよう求めました。



五十嵐先生の指揮で息の合った演奏を披露する吹奏楽部員＝石川県文教会館



美術・連句をアニメ表現
美術文化学部情報デザイン学科の高田伸彦教授らによる高校生を対象にした体験講座「俳句と連句の2D・3D CGアニメーション表現」が12月19日に開かれました。これは科研費補助金による研究成果普及事業「ひらめき☆ときめきサイエンス」の委託事業で、約30人がパソコンを使って俳句や連句を題材にしたアニメーション表現に取り組みました。



高屋ゼミが作品展

金沢学院大学美術文化学部情報デザイン学科の高屋ゼミ作品展が12月25日から3日間、金沢市のアートシアターいしかわギャラリーで開かれました。缶コーヒーやカードなどの商品のデザインをはじめ独自の創作的な作品が披露されました。

発行・広報室